

2024

環境報告書

ENVIRONMENTAL REPORT
～関連するSDGsへの取組について～



ENE GATE

私たちは持続可能な開発目標
(SDGs) を支援しています。

株式会社 エネゲート



目 次

1. ごあいさつ
 2. 品質・環境方針
 3. 持続可能な地球環境の改善に向けた取組み
 - (1) 環境活動推進体制
 - (2) ISO14001 認証取得
 - (3) SDGs との関連
 4. 主な環境行動指針の具体的展開
 - (1) ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。
 - (2) 省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。
 - (3) 4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。
 - (4) 環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。
 5. 2024年度 環境の取組み
 6. 2050カーボンニュートラルを目指して
- (参考) さらなる環境貢献型企業を目指して



1. ごあいさつ

スマート技術と柔軟な発想で、人と 社会の未来に役立つモノづくりを



代表取締役社長
廣田 禎秀

当社は、1914年の創業以来、電力量計、キュービクル、配電盤、配電自動化機器など、電力の安定供給を支える製品を提供し、電気事業の発展に貢献してまいりました。

また、脱炭素社会の実現に寄与することをめざし、2006年に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得し、それ以降、非化石エネルギー（原子力発電や太陽光発電等の再生可能エネルギー）の拡大、電気自動車の普及による電気エネルギーへのシフトおよびスマートメータの本格導入に大きく貢献して参りました。

さらに、CO₂削減や省エネルギーへの取組はますます高まっており、当社も加速するGXの動きに柔軟に対応して参ります。

なかでも、創業以来のコア技術を発展させた独自の技術により、今後導入が予定されている第2世代スマートメータの商品化をはじめ、HEMS・BEMSなどのエネルギーマネジメントシステムやEV充電システムなど、脱炭素に貢献できる新たな商品開発を進めていきます。また、VPP（バーチャルパワープラント）やスマートグリッド実証設備など、今後のエネルギー事業を支える最新の技術開発にも積極的に取り組んでいきます。

加えて、創業以来110年で培った技術と信頼を大切にするとともに、国際的な動きに合わせ、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「気候変動に具体的な対策を」など『SDGs（持続可能な開発目標）』に対する取組みも積極的に推進してまいります。

今後とも地球温暖化という21世紀における最も大きな課題に対して、当社が果たすべき役割と責任を認識し、脱炭素社会に向けた環境負荷低減への取組みを経営の最優先課題と位置づけ、地球環境の改善に貢献し続けていきたいと考えております。



2. 品質・環境方針

【理念】

当社は、脱炭素社会の実現とお客さま満足度の向上をめざし、環境に配慮した製品の開発や電力の安定供給をサポートするとともに、品質と関連技術の向上に努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

【行動指針】

エネルギーソリューションカンパニーとしてSDGsを推進し、「安全第一」、「お客さま第一」、「環境負荷低減」で品質・環境活動の継続的改善に努め、お客さまに選ばれる製品・サービス・メンテナンスを提供します。そのため、行動指針を次のとおり定め、品質・環境方針を社外へ公開するとともに、事業マネジメントと連携を強化し実行します。

1. 法令・規制の順守はもとより、お客さまをはじめとする利害関係者の要求事項を満たすとともに、非常事態に備えた対応を強化し、品質・環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
2. リスクおよび機会を考慮した品質・環境目標を定め、品質・環境活動の具体的展開を図り、その達成に努めます。
3. お客さま満足度の向上や環境影響を軽減するため、次の活動を推進します。

《品質》

- ①お客さまの要望を継続的に収集し、迅速かつ丁寧に対応します。
- ②品質改善活動の活性化に努め、全従業員の品質意識の高揚と技術・技能の向上を図り、製品・サービスの品質水準を確保します。
- ③お客さまへの影響評価や、事業へのリスクマネジメントを行い、万一の不良発生時、迅速な対応と再発防止を図ります。

《環境》

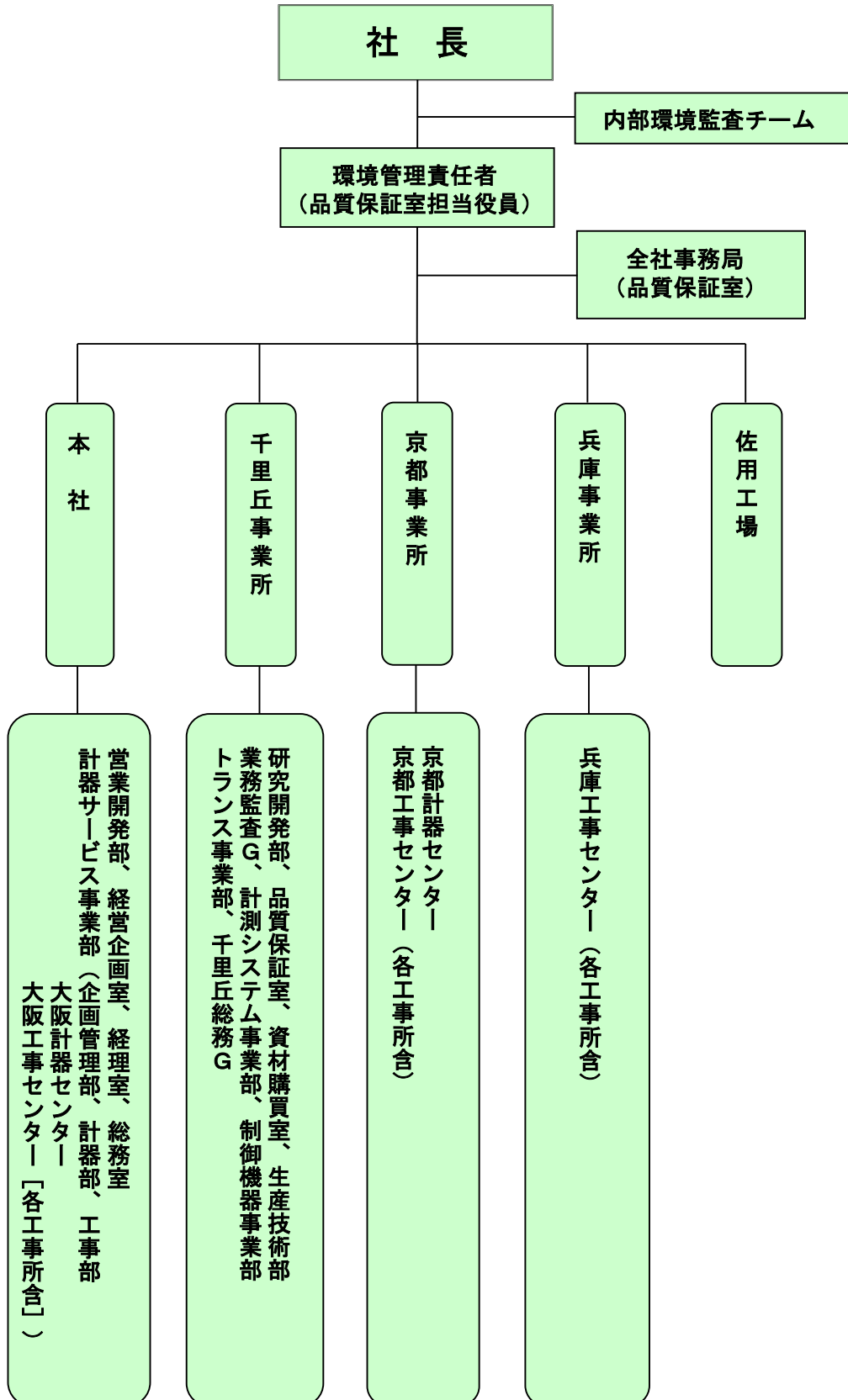
- ①ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の低減に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。
- ②省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。
- ③4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。
- ④環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。



3.

持続可能な地球環境の改善に向けた取組み

(1) 環境活動推進体制



(2) ISO14001 認証取得

《環境活動を支える環境マネジメントシステム》

当社は、本社を含む全ての事業所および工場において、2006年8月28日にISO14001を認証取得しました。

環境マネジメントの運用にあたり、事業プロセスとの統合を図るため、経営方針から「品質・環境方針」を設定しました。これら方針と整合したリスクと機会への取組み並びに環境目標達成に向けた活動を実施しています。

具体的には、環境関連法令の順守や環境目標については月次管理（実績把握と評価）しながら、達成に向けて全社一丸となって取り組んでいます。

また、これらの活動結果については、環境管理責任者へ報告するとともに、マネジメントレビューで社長へ報告しています。レビューの結果、改善を要することがあれば、社長より改善指示が出され、速やかに改善処置を実施しています。

今後は、SDGs（持続可能な開発目標）の国際的な潮流を踏まえつつ、PDCAサイクルによる改善を進め、環境経営の強化に取り組んでいきます。

【登録番号：E05-146】



登録証

株式会社エネゲート

大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号

登録範囲

電気エネルギーの計量・計測・監視・制御システムの製造・販売・エンジニアリング・サービス

適用規格

ISO 14001:2015・JIS Q 14001:2015

OISC環境マネジメントシステム審査登録制度に基づく審査の結果、上記並びに付属書記載範囲において適用規格に適合していることを証します。

登録番号：E05-146

株式会社 国際規格認証機構
大阪府大阪市中央区北久宝寺町一丁目4番15号

登録日：2006年8月28日
更新日：2024年7月7日
有効期限：2027年7月6日

代表取締役社長
上級経営管理者

井上 雅之
井上 雅之



登録証付属書

株式会社エネゲート

大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号

本社

大阪府大阪市北区大淀北1丁目6番110号
[電力集計の組込み及び取替工事、受電設備関連の工事・メンテナンス、
[省エネ関連機器の販売]

千里丘事業所

大阪府摂津市千里丘3丁目14番40号
[電力集計・計測関連機器・省エネ関連機器の製造・販売、受電設備及び
[監視・制御システムの製造・販売・取替工事、変流器・変圧器の製造・販売]

京都事業所

京都府京都市南区上鳥羽石橋町201番地
[電力集計の組込み及び取替工事]

兵庫事業所

兵庫県明石市魚住町清水177番地4号
[電力集計の取替工事、受電設備関連の工事・メンテナンス]

佐用工場

兵庫県佐用郡佐用町長尾字清水の元325番地
[電力集計・計測関連機器の製造]

登録番号：E05-146

株式会社 国際規格認証機構
大阪府大阪市中央区北久宝寺町一丁目4番15号

登録日：2006年8月28日
更新日：2024年7月7日
有効期限：2027年7月6日

代表取締役社長
上級経営管理者

井上 雅之
井上 雅之

本書は登録組織のサイト情報ですので、登録証と合わせてご覧ください。

(3) SDGsとの関連



エネゲートは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



環境に関するエネゲートの取組み

環境行動指針	取組み項目	関連するSDGs
ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した製品の開発 ・環境に配慮した製品の販売 ・環境に配慮した資材の購入 	
省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・消費電力量 ・ガソリン使用量 ・太陽光発電の推進 	
4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物排出量 ・水の使用量 ・コピー用紙の購入量 	
環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> ・2025大阪・関西万博への貢献 ・環境イベントへの出展 ・会社周辺の清掃活動 ・敷地内緑化の推進 	



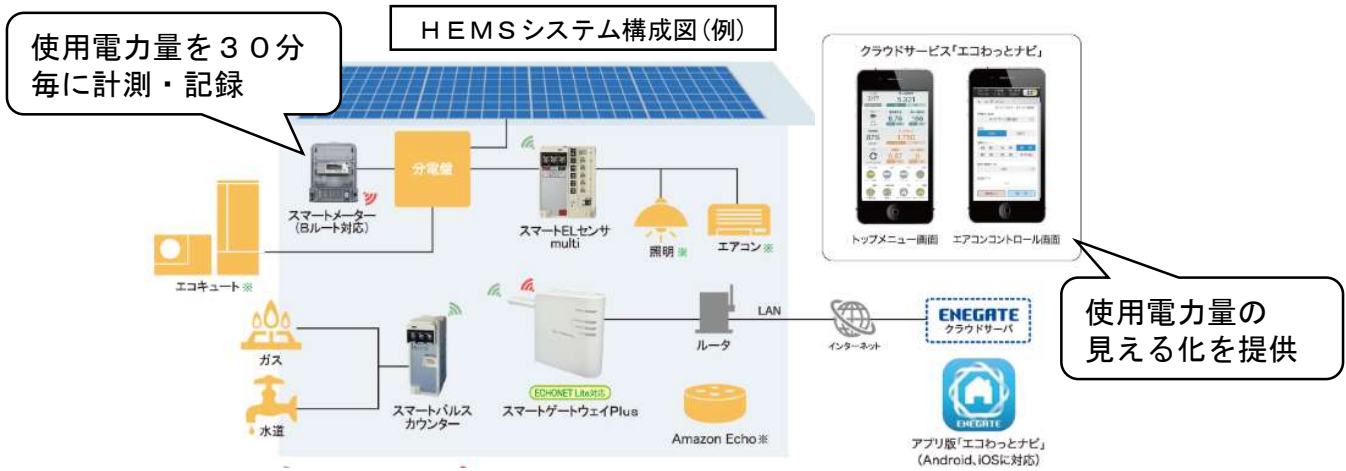
4 主な環境行動指針の具体的展開

(1) ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。

①環境に配慮した製品の開発



BEMS、MEMS、HEMSといったビルやマンション、さらには一般家庭に至るまで、幅広いエネルギー利用の現場において、多彩なエネルギーマネジメントシステムを通じて、トータルソリューションを提供し、省エネやCO₂削減を推進します。



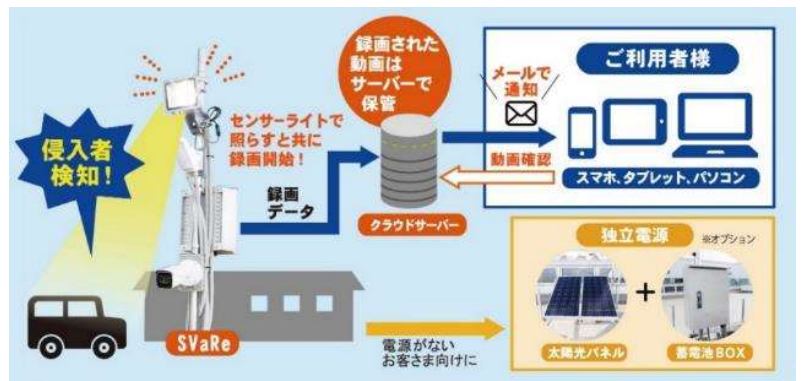
②環境に配慮した製品の販売



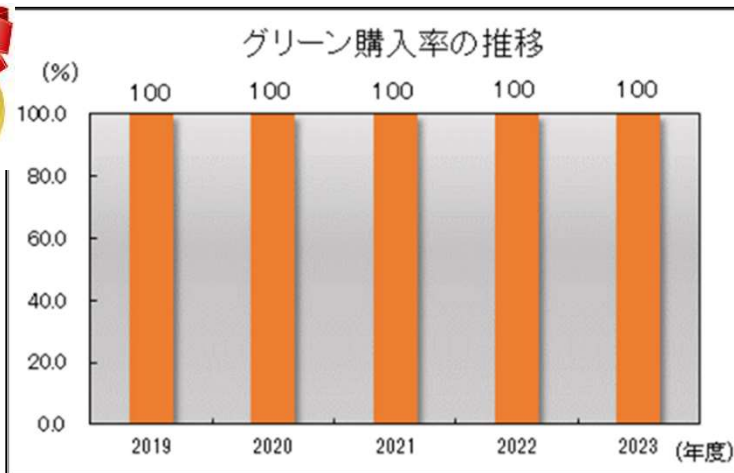
No.	システム	用途
1	エコQ電システム	EVへの充電
2	盗難・不法投棄抑止カメラシステム	不法投棄の抑止

○スマートフォンやフェリカで簡単に操作できる電気自動車向け充電システム「エコQ電システム」を開発・販売しています。

○不法投棄を検知し、鮮明な証拠を残すカメラシステム「SVaRe (スバレ)」を開発・販売しています。



③環境に配慮した資材の購入



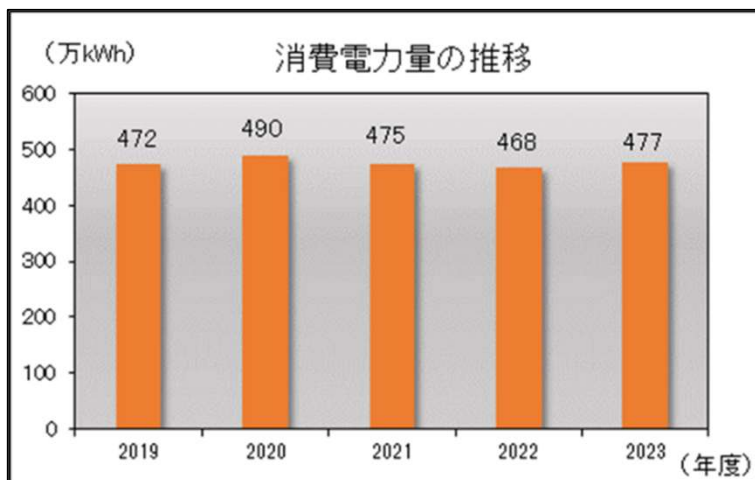
グリーン購入率100%を継続して達成することができました。また「環境報告書の冊子」には、バナナペーパーを使用し、SDGs活動を支援しています。(詳細は裏表紙)

(2) 省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。

①消費電力量



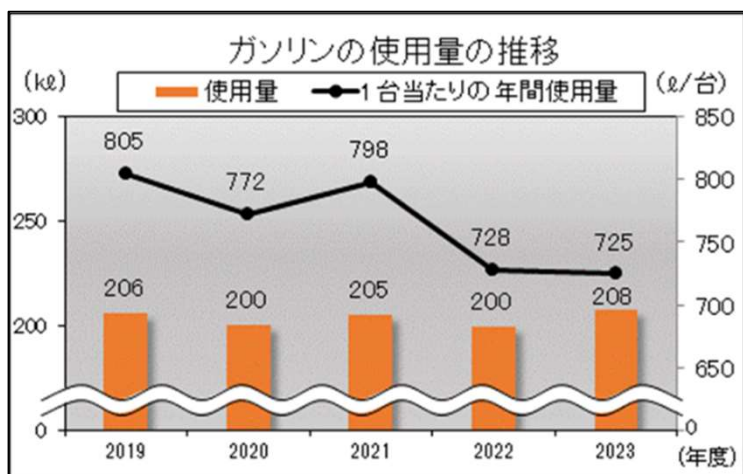
クールビズ、ウォームビズの推進等により消費電力量の削減に努めましたが、477万kWhとなり、対前年で微増となりました。今後は高効率機器の導入や省エネ関連システムの構築により、消費電力の削減に取り組めます。



②ガソリン使用量



エコドライブの推進や電動車の利用に努めましたが、業務量増に伴って走行距離が増えたため使用量は208kℓとなりました。なお1台当たりの使用量は減少傾向にあります。今後の業務量の増大に備え、更なる電動車の導入とエコドライブの推進に努めます。



社有車の保有台数: 287台 (台数)

事業所	保有台数	ハイブリッド (再掲)	E V (再掲)
本社	152	(11)	(2)
千里丘	15	(5)	(2)
京都	56	(1)	(0)
兵庫	63	(1)	(0)
佐用	1	(1)	(0)
合計	287	(19)	(4)

(2024年3月末現在)

《EV車の利用》

関西電力グループの「ゼロカーボンロードマップ」に従い、2030年までに社有車の100%電動化を目指します。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



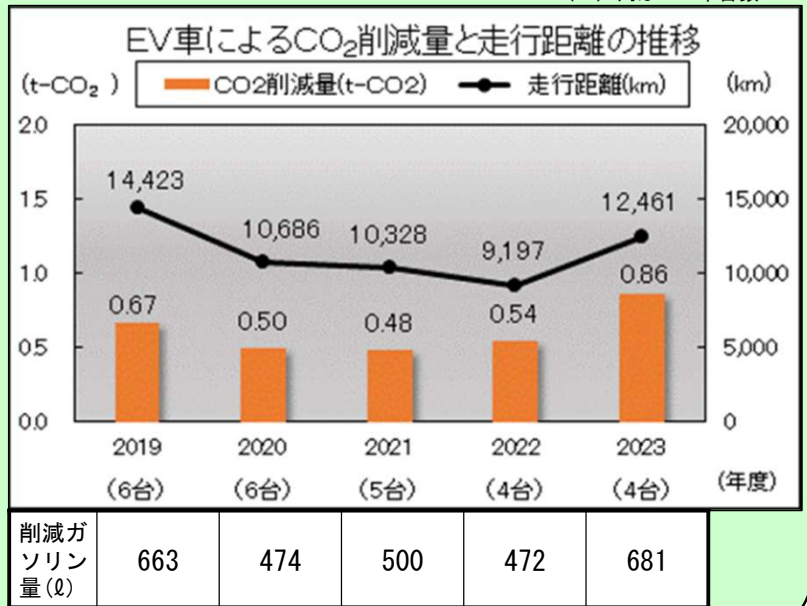
13 気候変動に
具体的な対策を





EV車と充電システム

() 内はEV車台数



③太陽光発電の推進

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を

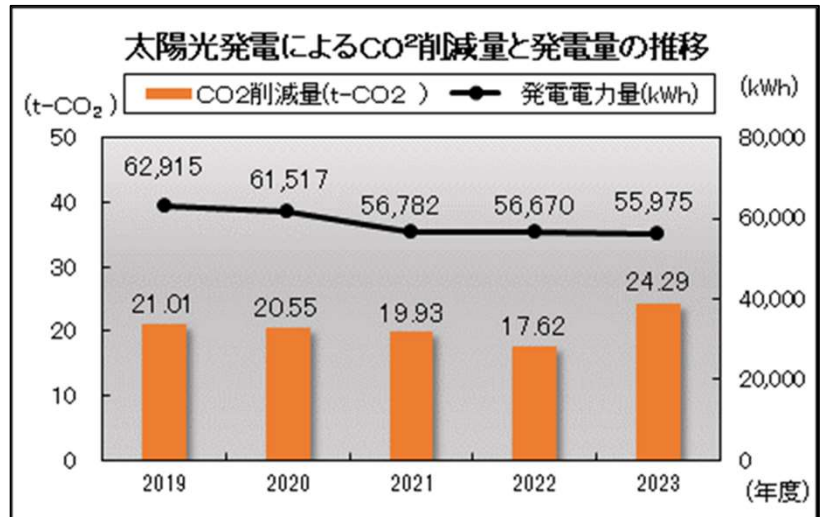


新たに2024年4月より千里丘事業所 本館屋上に太陽光発電パネルを設置し、CO₂排出量削減に取り組みます。

〔太陽光発電パネル〕



千里丘事業所 本館屋上



寝屋川工事所屋上

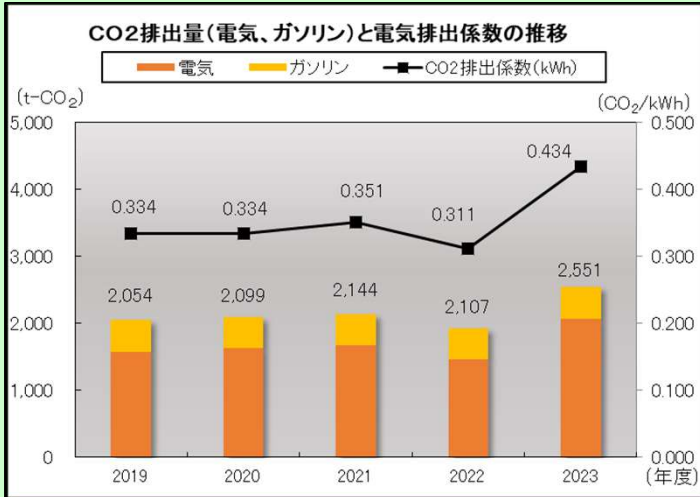
(2023年3月末時点)

事業所	設置数(基) [箇所数]	定格出力 (kW)	面積 (㎡)	1㎡当たりの 月平均発電電力量 (kWh/㎡)
千里丘	8[3]	29	222.3	11.2
平野	1[1]	18	116.9	
寝屋川	1[1]	13	77.9	
合計	10[5]	60	417.1	—

《当社のCO₂排出量の推移（Scope 1、2）》



当社の2023年度CO₂排出量は、電気のCO₂排出係数および業務量の影響により増加しました。



CO₂排出係数

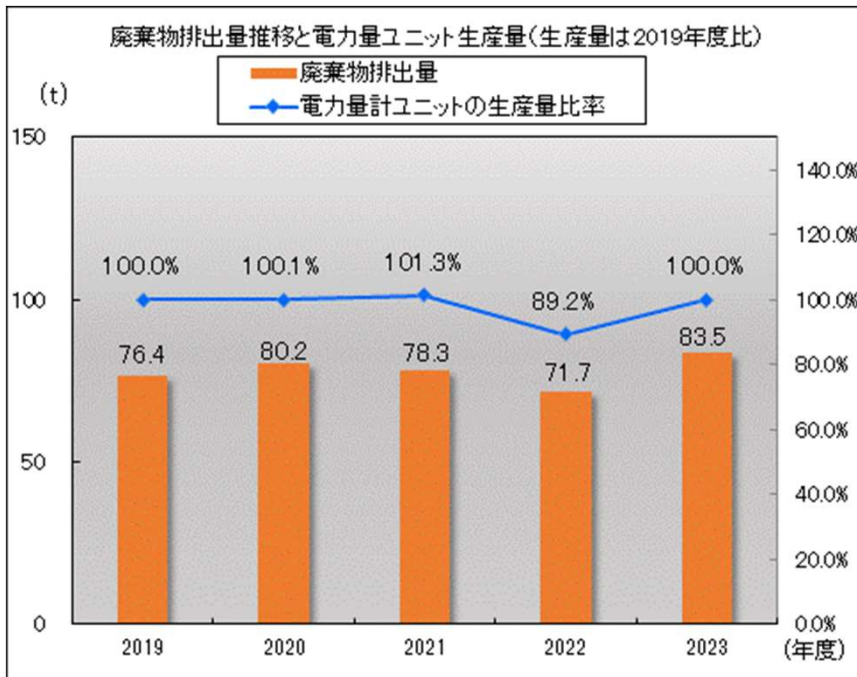
項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ガソリン	kg-CO ₂ /ℓ	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32
電気	kg-CO ₂ /kWh	0.334	0.334	0.351	0.311	0.434

【出典】
 電気：関西電力㈱
 二酸化炭素排出係数（クレジット反映後）
 ガソリン：地球温暖化対策の推進に関する法律施行規則

(3) 4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。

①廃棄物排出量

廃棄するプラスチックや金属屑のリサイクル化を推進して廃棄物削減に取り組んでいますが、生産量の増加に伴い2023年度の排出量は83.5tと増加となりました。今後も4R活動の更なる推進や分別方法の見直しなどにより、廃棄物の削減に取り組みます。

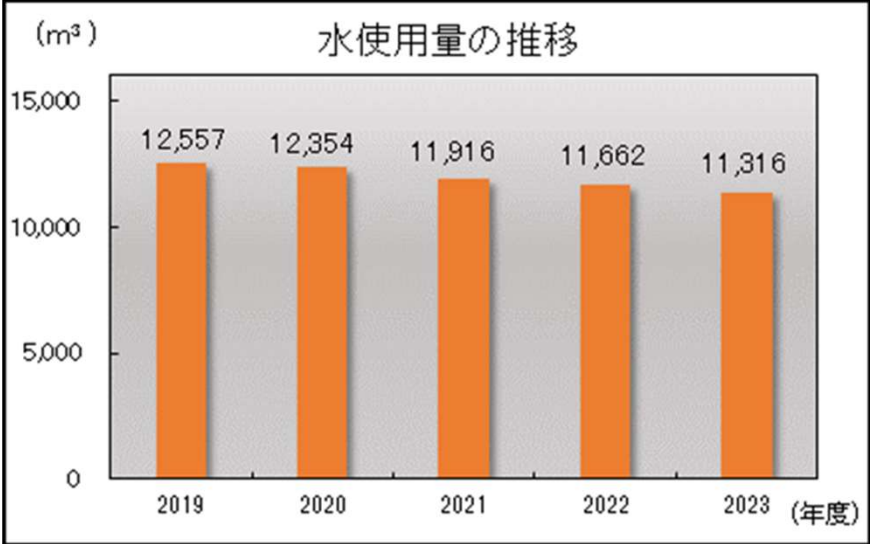


プラスチックパレットのリサイクル

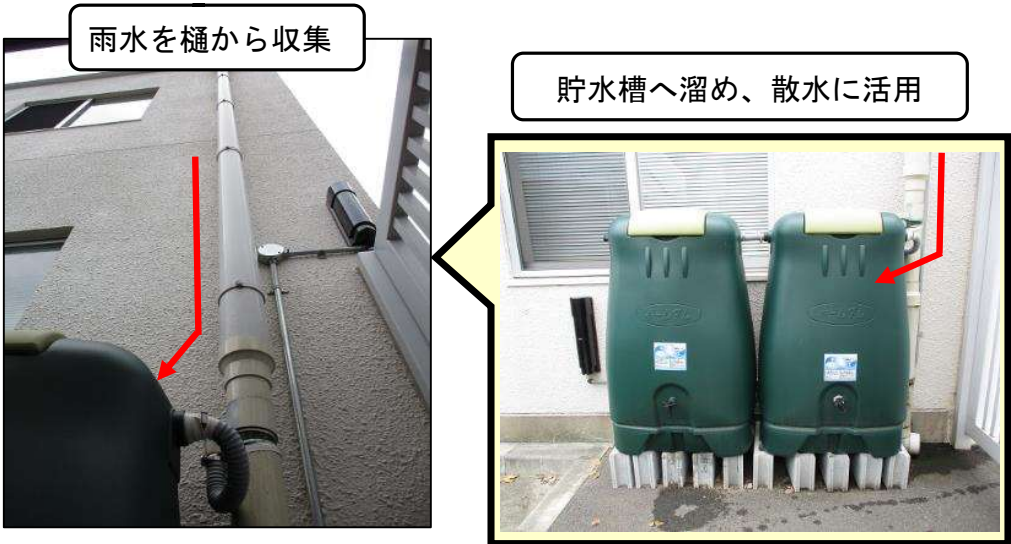
②水の使用量



雨水の積極的な活用等の節水施策に取り組んだ結果、2023年度の使用量は11,316m³と減少しています。今後も、節水施策の継続的な取り組みを実施します。



雨水の活用
(兵庫事業所)



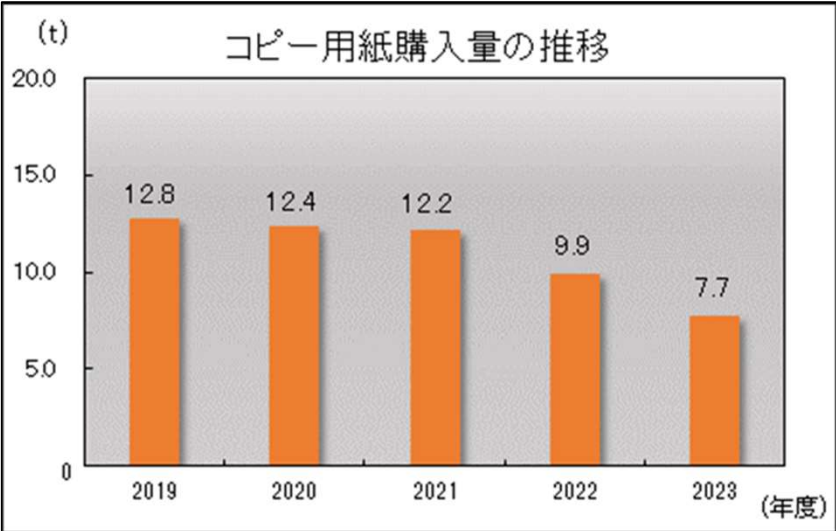
雨水を樋から収集

貯水槽へ溜め、散水に活用

③コピー用紙の購入量



2022年度より「大胆なペーパーレス」に取り組み、2023年度購入量は7.7tと大幅に削減でき、順調に減少しています。今後は2025年度までに50%削減(2021年度比)を目指して取り組みます。



(4) 環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。

①2025年大阪・関西万博への貢献

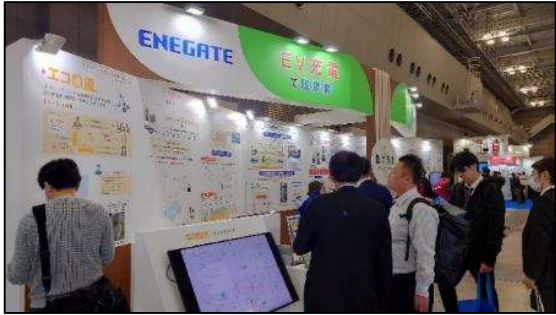


大阪・関西万博の会場で次世代の電柱（スマートポール）の実証試験を4社で行いました。今後は、実証試験で得たAIの知見を導入し、地域社会での導入を目指し、電力設備の保全の高度化や効率化に寄与して参ります。

②環境イベントへの出展



環境イベントに当社の環境関連製品を出展しました。多くの方が来訪され、高い関心を示されました。



ENEX2024 第48回地球環境とエネルギーの調和展
(東京ビックサイト:2024年1月31日～2月2日)

③会社周辺の清掃活動



各事業所において、周辺の清掃など、地域の美化活動を継続的に実施しています。

本社周辺



千里丘事業所周辺



京都事業所周辺



兵庫事業所周辺



佐用工場周辺



④敷地内緑化の推進



各事業所で緑化を推進し、CO₂の削減に努めています。

千里丘事業所



《自家菜園》





2024年度 環境の取組み

環境行動指針	取組み項目	内容
ライフサイクルを視点に入れ、地球環境負荷の改善に資する製品の開発、資材の購入、有害化学物質の削減により環境リスクを低減します。	・環境に配慮した製品の開発	・RoHS指定適合品の選定 ・省電力化、小型化、軽量化の定着
	・環境に配慮した製品の販売	・営業活動の強化と販路拡大
	・環境に配慮した資材の購入	・グリーン購入の徹底
省エネルギーの推進並びに再生可能エネルギーを有効利用します。	・消費電力量の削減	・エネルギーマネジメントシステムの活用 ・冷暖房温度の適正管理
	・ガソリン使用量の削減	・HV車の導入 ・エコドライブ10の実践 ・EV車の積極的利用
	・太陽光発電の推進	・パネル増設の推進
4R(使用回避、省資源、再使用、再生利用)を推進し、廃棄物を削減します。	・廃棄物排出量の削減	・4Rの推進 ・分別廃棄の徹底 ・リサイクル業者の開拓
	・水の使用量の削減	・自動水栓の採用 ・雨水の活用
	・コピー用紙の購入量の削減	・会議資料の電子化 ・電子りん議の活用
環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。	・2025大阪・関西万博への貢献	・スマートポールの活用
	・環境イベントへの出展	・展示会等への積極的出展
	・会社周辺の清掃活動	・定期的な実施
	・敷地内緑化の推進	・植樹の実施と管理

わが家でもできること

- | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気の削減 ・ 水道水の削減 ・ ガソリンの削減 ・ ごみの減量 ・ その他 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンは適正温度で利用する ・ 蛇口はこまめに閉める ・ ふんわりアクセル「eスタート」 ・ 食べ残しをなくそう ・ マイバッグ・マイボトルの利用 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



6. 2050カーボンニュートラル を目指して

弊社は2050年カーボンニュートラルを目指す、第1ステップとして「SDGs 2030ビジョン」を策定し取組み中です。

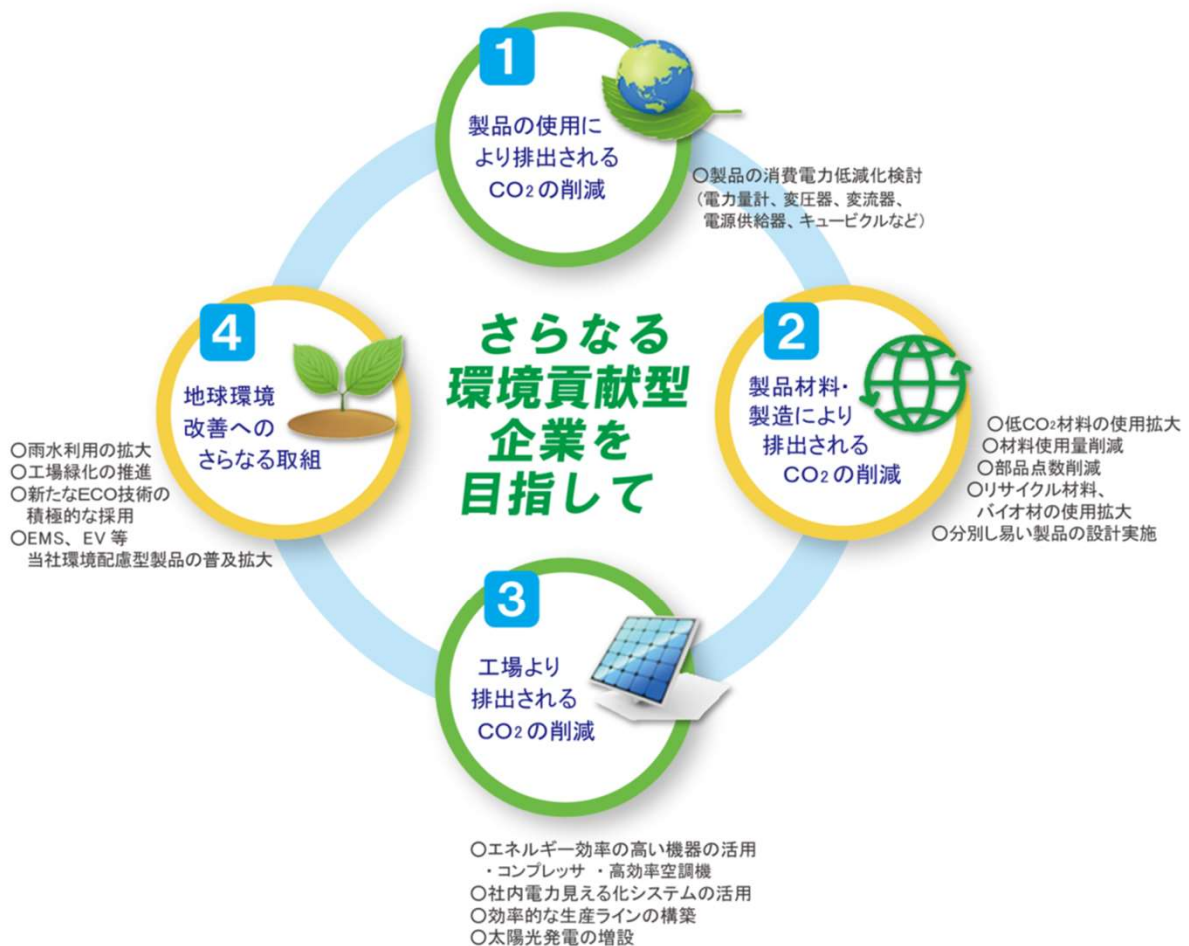
取組み	年度	2024～2025年度	2026～2030年度
SM(スマートメータ)の安定供給		第2世代SMへの切替	第2世代SMの安定供給
EMS、EV充電の普及促進		開発と普及促進	開発と更なる普及促進
EMS、EV充電、PV、蓄電池の設備構築と事業活用		千里丘事業所での実証設備構築	実証成果を製品へ反映
直流マイクログリッドの普及促進		開発	製品化と普及促進
太陽光発電設備の増設		千里丘(本館・東館)	その他の事業所への増設
社有車の電動化		2030年を目途に電動化を推進	
配送の効率化		製品や部品などの共同配送の推進	
プラスチック材料の4R		リサイクル推進と再資源化を目指した開発設計	
購入や納入時の通函化の推進		梱包用木材廃止と運搬用段ボールの再利用の推進	
ペーパーレス化		使用量50%削減	更なる使用量の削減

弊社の主力製品であるスマートメータの安定供給やエネルギーマネジメントシステム、EV充電システムの普及促進だけでなく、太陽光発電設備の増設や社有車の電動化などを積極的に推進し、2050年カーボンニュートラルへの貢献を目指します。

なお、SDGsの達成年度である2030年に合わせ活動を行いますが、長期にわたるため2025年での中間目標を定め、適宜見直しを行いながら進めていきます。



この先も、環境に優しい企業として、「環境負荷の少ない持続可能な社会の構築」を目指します。



株式会社 エネゲート

〒531-0077 大阪市北区大淀北 1-6-110
<https://www.enegate.co.jp/>

お問合せ先：千里丘事業所 品質保証室
 TEL.06-6387-1237 FAX.06-6389-0577

この報告書にはバナナペーパーを使用しています。

※バナナペーパーとは、アフリカのザンビアで生産されたオーガニックコットンバナナの茎の繊維に、森林認証パルプを加え、日本の和紙技術を用いて生産された、人にも地球にも優しいフェアトレードペーパーです。